

特集

飛ぶ無痛Caféコラボ!

無痛分娩の アクティブバース 動ける麻酔と動かす助産

都市部を中心に、硬膜外鎮痛を用いた経膈分娩（いわゆる無痛分娩）を選ぶ女性が急増しています。それに伴い、硬膜外鎮痛を用いた「いいお産」を実現するための助産技術が必要になっています。

例えば「痛み」以外の指標によって分娩進行を把握・予測することや、硬膜外鎮痛下で有効な陣痛と児の回旋を促すこと、妊娠から出産、産後を通して女性の主体性を引き出し尊重する関わりなどが、医療安全と両立して求められます。

本特集は、助産師・田辺けい子さん、麻酔科医・日向俊輔さん、産科医・野口翔平さんが行う無痛分娩の学びコミュニティ「飛ぶ無痛 Café」とのコラボレーションで実現しました。硬膜外鎮痛下でも、女性が自分の身体と心に向き合い、出産のプロセス全体に能動的に参加する「無痛分娩のアクティブバース」を実践するための知識と技術を解説していただきます。

言わずもがなではありますが、「いいお産」は「痛みがない」というだけでは実現できません。そして無痛分娩を選んだ女性にも、いいお産をする権利があります。その権利を守るためには、助産師の力が不可欠だと思いませんか？

どんな出産方法でもアクティブバースが可能であることを、助産師の実践によって証明していきましょう。